
青春の肖像 2

山之内 白洞人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青春の肖像2

【Nコード】

N8117F

【作者名】

山之内 白洞人

【あらすじ】

青春の淡く切ない思い出を今は老いた私が語ります。

第二章

2、見知らぬ地で

但馬先生の紹介で、私は、下った、街中で、下宿を見つけてもらえることと成った。

その日はとりあえず私は元来た道を辿って帰宅したのだ。

1週間後、春休みも終り、新学期が始まる頃。

荷物と所帯道具を紹介された下宿の住所宛に発送したのだった。

そして、紹介された住所へ行ってみると、そこは立てかけのアパートでまだ建前もすんでいないところだった。

私の荷物は、その前に放置してあったのだ。

私は呆然とたたずむばかり、

但馬先生に連絡を取ると、「予定より大分遅れてしまった」とあつけらかんと言うばかり。

「暫く私の家にでも下宿したら」何てノンキなことを言っている。

私は「どんなところでもいいからありませんか」というと、

「そうですか、じゃあ」といつてあちこち電話してくれて、やっと、「町会議員さんとこのぼろ長屋なら今、空いてるけどそでいいですか」という。

「ええ、充分ですよ。」

という事で軽トラで放置してあった私の荷物と私をその長屋まで運んでくれたのである。

そこは確かにぼろぼろの2件長屋で、何か私のこの全く見知らぬ地での

先行きを暗示するかのようなたたずまいではあった。

私はそこでやっと荷を解き方付けを始めた。

大都会でのサラリーマン生活から逃げるように実家に戻り、そして今、こうして全く見も知らぬ地で、荷を解いてる。

一体これからどうなるのだろう。

一抹の期待とそして不安が雲のようにわいてくるのであった。

しかし、ひとたび目を外に転ずると、そこは一面の菜の花畑と、若麦畑が何処までも広がる、農村地帯だった。

そのはるか彼方に私の実家もある。

そして今こんなに遠く離れた地に自分が何の因果か呼ばわれているという運命の不思議に

陶然とするばかりだった。

そしてあの少女との出会いもまるでしつれえられたような運命だったのかもしれない。

と、今ならばおもえるのであった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8117f/>

青春の肖像 2

2010年11月25日17時14分発行